

# 社会資本総合整備計画(第4回変更)

## 多度地区都市再生整備計画

平成26年3月10日

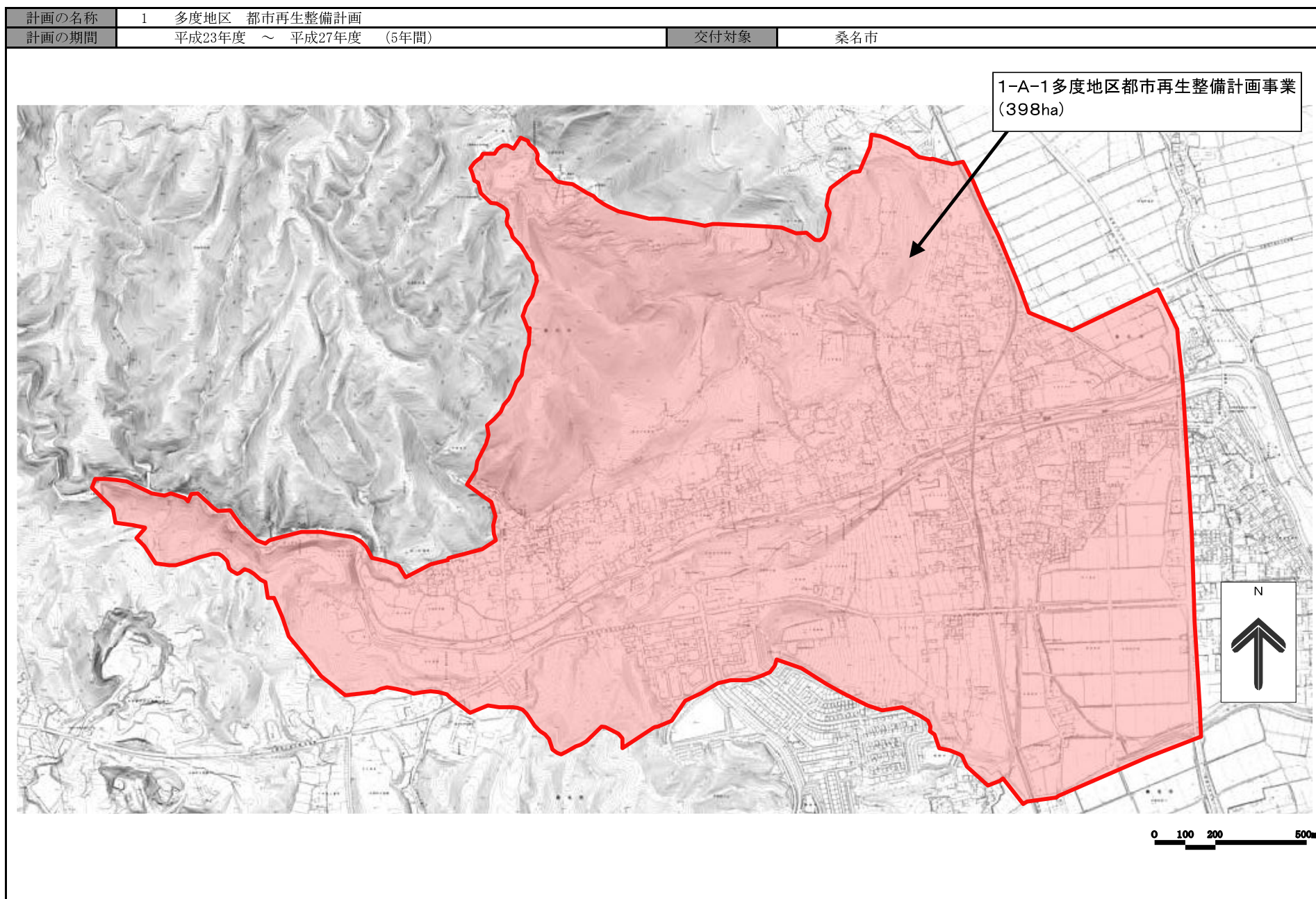
三重県桑名市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成26年3月15日

計画の名称		1 多度地区 都市再生整備計画														
計画の期間		平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象		桑名市							
計画の目標		<p>大目標：自然に包まれ、伝統が息づく、癒しの里づくり                  小目標：多度を訪れる来訪者が満足できる、おもてなしの環境づくり                  小目標：豊かな自然資源や歴史・文化資源を結び、安全で魅力あふれるおもてなし・くらしのみちづくり                  小目標：地域住民が元気で快適に活動し、伝統・文化が息づく地域活力の創出に向けたくらしの環境づくり</p>														
計画の成果目標（定量的指標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>三重県観光レクリエーション入込客数推計書における多度大社及び多度山上公園の年間入込客数 1,368,150人／年から1,436,560人／年（68,410人／年）増加</li> <li>地区市民の意向調査において、「観光客向けの便利施設が十分に整っているか」等の設問に対し、「思う」、「少し思う」と回答した方の割合 12%から30%（18%）増加</li> <li>地区市民の意向調査において、「健康の維持・増進を図ることができる施設が充実している」との設問に対し、「思う」、「少し思う」と回答した方の割合 8%から15%（7%）増加</li> </ul>														
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値					備考				
							当初現況値 (H23当初)		中間目標値 (H25末)		最終目標値 (H27末)					
「観光客入込客数」を把握することで、地域の付加価値を高める施設整備の効果を把握する。							1,368,150人／年				1,436,560人／年					
「観光施設周辺の便利施設等の満足度」を把握することで、地区内の回遊性を高める整備の効果を把握する。							12%				21%					
「健康維持に対するに対する施設の満足度」を把握することで、健康の維持・増進を図ることができる施設整備の効果を把握する。							8%				15%					
全体事業費		合計 (A+B+C)		170.2百万円	A	170.2百万円 (内提案事業費 7.1百万円)		B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		4.2%				
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-A-1	都市再生	一般	桑名市	直接	桑名市	多度地区 都市再生整備計画事業	高質空間形成施設 地域生活基盤施設等 約398ha	桑名市							170.2	
合計													170.2			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

(参考図面) 市街地整備



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 多度地区都市再生整備計画 事業主体名: 桑名市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>